

## S1. 「海洋開発分野における計測・観測技術」

近年、様々な分野でデジタルトランスフォーメーション（DX）が進んでおり、海洋開発分野の研究でもその波が押し寄せてきています。現地観測や実験場での計測はこれまでもデジタル化が進んでいた分野ではありますが、新たな技術によって大幅に計測技術が進化したものもあります。たとえば、ドローンによる空からの観測はより沖合の、そしてより広範囲な波浪や、砂浜の平面的な地形観測を可能としました。また、レーザーによる測量機器は非接触で物体の形状やその変化を捉えることを可能とし、様々な実験で使われるようになってきました。災害調査においても、浸水高を GNSS 測量によって短時間で高精度に測量できるようになりました。さらに、実験では 3D プリンターも活用され、これまで実験できなかつた複雑な形状の物体を再現し、それに波浪を作用させた実験も実施できるようになりました。今後は、現地の情報をドローンやレーザーで取り込んで、その情報を数値シミュレーションに活用する、あるいは実験模型や砂浜の作成に活かして精度の高い水理模型実験が頻繁に実施されるようになるかもしれません。

そこで、本セッションでは、過去から現在にいたるまでの様々な計測・観測技術、あるいはその活用法を持ち寄り、幅広い議論を行いながら、海洋開発分野における技術を発展させていきたいと考えています。皆様の研究の成果をお待ちしています。